

【NEWS RELEASE】

2025 年 7 月 28 日

各位

株式会社三井住友銀行

コーポレートベンチャーキャピタルファンド 「SMBC Fin Atlas Beyond Fund」の設立について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、米国のスタートアップに投資するファンド「SMBC Fin Atlas Beyond Fund」（以下「本ファンド」）を Fin Venture Capital Management LLC（Founder & Managing Partner：Logan Allin、以下、「Fin Capital」）と共同で設立し、金融領域で技術革新を行う米国のスタートアップに投資するコーポレートベンチャーキャピタル（以下「CVC」）活動を開始いたします。

1. 本ファンド設立の目的

今般、三井住友銀行は、フィンテックおよび B2B ソフトウェア領域で豊富な投資実績と深いネットワークを有する米国の資産運用会社である Fin Capital と共同で、金融領域で技術革新を行う米国のスタートアップに投資する運用総額 300 百万米ドルの「SMBC Fin Atlas Beyond Fund, LP」（ケイマン諸島籍）を設立いたしました。

本ファンドを通じて、三井住友銀行の米州拠点およびグループ各社とも密接に連携しながら、米国全土のスタートアップ、起業家、投資家、大学等とのネットワークを構築し、SMBC の業務変革に貢献していくことを目指します。

なお、今後は三井住友銀行の米国スタートアップへの投資を対象とした CVC 活動を「Atlas Beyond Ventures」と称し、米国内でのブランド醸成に注力してまいります。

2. 本ファンドの概要

名称/ロゴ	SMBC Fin Atlas Beyond Fund, LP / SMBC FIN ATLAS BEYOND FUND
設立国	ケイマン諸島
運用総額	300 百万米ドル
運用期間	10 年間
投資対象	主に米国のスタートアップ、アーリーステージ中心
投資領域	BankTech, Payments, Asset/Wealth Management and Capital Markets, CFO Tech Stack, InsurTech, RiskTech/Cyber, Vertical Fintech, and AI infrastructure

3. Fin Capital 概要

Fin Capital は、2018 年に設立されたグローバルな資産運用会社であり、B2B フィンテックソフトウェア企業に対して、プレシードからプレ IPO までのフルライフサイクル投資を行っています。大手企業やスタートアップでの経験を持つ Fin Capital のチームメンバーは、自社独自の運営マニュアルを活用しています。これにより、ビジネス開発や資金調達、企業戦略、取締役会への助言、人材発掘などの分野で、ポートフォリオ企業や起業家に対して価値あるサポートを提供しています。また、AI（人工知能）や機械学習を活用した独自のシステムプラットフォーム「Lighthouse」（www.lighthouse.ai）を開発し、チームメンバーや起業家、投資家の活動を支援しています。Fin Capital は 10 億米ドル超の運用資産を管理しており、サンフランシスコ、ニューヨーク、マイアミ、東京にオフィスを構え、現在、世界中で 125 以上のアクティブなポートフォリオ企業を有しています。詳細は <https://fin.capital/> をご覧ください。

4. 「Atlas Beyond Ventures」 という名称について

ブランドネーム/ロゴ	Atlas Beyond Ventures /  Atlas Beyond Ventures
名前、ロゴに込める思い 	天空を支える神として知られ、責任、強さ、グローバルな視点を象徴する“Atlas”と、地域を超え、フロンティアを先導していく“Beyond”を用いて、三井住友銀行として、本 CVC を契機に新たな領域に挑戦していくこと、および米国、アジア、日本の架け橋となり、新たな技術と革新を探求しながら未来を切り開いていく存在になりたいという思いを込めております。
Web サイト	https://atlasbeyond.vc/

以 上